

医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

Page 1

登録No 85

1. 施設名	グループホーム 黒崎		
2. 住所	〒	806-0037	
	八幡西区東王子町7-8		
	TEL	093-621-2612	
	FAX	093-631-1820	
3. 地区	八幡西区 東王子		
4. 入所相談対応者	非公開	①氏名	—
		①職種	—
		②氏名	—
		②職種	—
5. 施設種別	グループホーム		
	【補足】『その他』（詳細）	—	
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	ユニット型		
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	—
		②ベッド数	—
7. ショートステイ	なし	【補足】	—
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用していない		
	①常 勤	—	
	②非常勤	—	
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	対応していない	
		【補足】	
		①『オンコール対応』時間	—
		②『その他』（詳細）	—
9. 施設の入所基準 ～介護度～	×	自立 ⇒ 【補足】	— (年齢)
	×	要支援 1	
	○	要支援 2	
	○	要介護 1	
	○	要介護 2	
	○	要介護 3	
	○	要介護 4	
	○	要介護 5	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	グループホーム 黒崎		
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 ×	
10-2. 施設の入所基準 ～その他～	公開	受入の可否	
		—	生活保護
		—	身元保証人がいない
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について		
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時
	×	—	経管栄養（胃瘻・腸瘻）
	×	—	経管栄養（経鼻）
	×	—	C Vポート
	×	—	中心静脈栄養
	×	—	血糖・インスリン注射
	○	—	点滴静脈輸液
	○	—	褥瘡処置
	○	—	膀胱留置カテーテル
	×	—	膀胱瘻
	○	—	導尿（自己のみ）
	×	—	気管切開
	×	—	人工呼吸器
	×	—	酸素吸入
	×	—	腎瘻
	○	—	浣腸・摘便
	×	—	ストーマ（消化器・尿路）
	×	—	血液透析
	×	—	腹膜透析
	×	—	感染症（MRSA・疥癬他）
	×	—	神経難病
	○	—	喀痰吸引
	—	—	喀痰吸引（夜間）
		—	喀痰吸引（昼間）
	○	終末期	
	—	○	麻薬を用いた疼痛管理
		○	施設にて看取り（10-4.実績数）
		○	状態悪化時、病院搬送



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	グループホーム 黒崎				
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	非公開	昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の看取り実績数 — 件			
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など				
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①種類	—	
②人数			—		
12. 食 事	対応の可否など				
	食形態	×	ソフト		
		○	ミキサー		
		○	とろみ		
		×	ムース		
		○	きざみ		
	治療食	×	分割食		
		×	肝臓食		
		×	腎臓食		
		×	糖尿病	⇒【補足】(詳細)	—
		×	塩分制限	⇒【補足】(詳細)	—
	—	×	アレルギー除去食		
		×	嗜好による個別対応		
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定していない		
		リハビリ 職員数	P T	—	
			O T	—	
			S T	—	
14. 入浴(浴槽)	○	個 浴			
	×	機械浴	⇒【補足】	車いす	—
			ストレッチャー	—	
			リフト	—	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	グループホーム 黒崎		
15. 透析患者の 受診送迎	公開	対応していない	
		【補足】	— に対応
		—	
16. その他	公開	入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？	
		変更しない	
17. 施設の特徴	当事業所は、閑静な住宅街の中に位置し、近隣には警察署・郵便局・ショッピングモールなど公共機関及び商業施設や緑豊かな遊歩道もあり、生活環境として恵まれた環境である。また近隣には急性期病院が控え、事業所の1F部分には、居宅介護支援事業所や訪問介護、デイサービス、訪問看護ステーションが併設され、病状管理や急変時の対応も迅速・適切な管理が可能である。家族会を開催し、講演やレクリエーションを企画し、多くのご家族に参加して頂き交流を深めている。地域との交流も、山笠や近隣市民センターとの交流を密に図っている。職員教育も法人全体で教育体制を整え事業所内・外の研修を通して人材育成に努めている。今後も地域の医療機関と連携を強化しQODを目指した看取りや快適な日常生活を送れるように生活環境の改善やケアの質向上に注力していきたい。		



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。